



YAMATO the Drummers of Japan

World Tour 2025-2026



**YAMATO**  
THE DRUMMERS OF JAPAN

## 「人の力」 "Hito no Chikara" - The Power of Human strength

テクノロジーは道具

使うのは人

テクノロジーの発展に伴って

テクノロジーが知能を持つ時代

人はテクノロジーに使われる道具となるのか？

人の存在はどうなるのか？

人が生きている今という時代に

和太鼓を打ち鳴らす

大木と牛の皮で出来た太鼓を

人の力で打ち鳴らす

それは鼓動だ

人の力だ

## メッセージ

最近、「人工知能」が大きな話題になっています。

人類の誕生以来、人は生活を便利に、より良くするための創意工夫を繰り返し、その成果を積み重ねてきました。科学技術の発展。そのひとつの産物、「人工知能」。

人が使う道具としてのテクノロジー「人工知能」は人を超える可能性があるらしい。

多くの、人間が行ってきた仕事を人工知能が担うという。

人は自分たちが生み出した道具に使われるのか？

それともこの先、人は必要なくなるのか？

和太鼓を打ち鳴らすという事はどうなるのか？

正確無比に和太鼓を演奏するマシンが現れるのか？

高度なアルゴリズムによって、人間らしい音を響かせるのか？

それはそれ。

倭は倭らしく打ち鳴らしていこう。

人が打ち鳴らす音が人の心と響き合う。

心の音を打ち鳴らし、響き合い、人の力になるのだ。

人類の終わりがいつかはわかりませんが、その瞬間まで打ち鳴らす。

生きている限り打ち続けられる心臓の鼓動の様に。

ということで、人工知能 ChatGPT に人の力について聞いてみました。

---

### 人の力 - The Power of Human strength by ChatGPT

「The Power of Human strength」を日本語に翻訳すると、「人間の力」となります。

このフレーズの意味を考えると、いくつかのイメージが浮かびます。

1. 力と強さ：人間の本質的な力と強さを象徴します。課題を乗り越える人々、限界を超える人々、身体的または精神的な強さを示すイメージが関連付けられます。
2. 創造力と革新：「人間の力」は、人間の創造力と革新の能力を表すこともできます。芸術的な創作物、技術の進歩、科学的な発見など、人間の革新のイメージが関連付けられます。

3. 結束と共同行動：このフレーズは、人々が一体となり、共通の目標に向かって取り組むことから生まれる力を強調します。チームワーク、協力、活動、または地域の参加などを描いたイメージが人間の結束の力を表します。

4. 思いやりと共感：「人間の力」は、親切さ、思いやり、共感の行為を通じて示されます。他人を助ける人々、ボランティア活動、人道的な努力に取り組む人々を描いたイメージがこれを表現します。

5. 個人の成長と自己実現：「人間の力」は、個人の成長、自己啓発、自己の可能性の実現といった側面からも解釈されます。個人の達成、自己発見、変革的な経験を描いたイメージが人間の力のこの側面を表現します。

これは一例であり、「The Power of Human strength」の意味は、視点や文脈によって異なる場合があります。

AI（人工知能）と「人間の力」との違いはいくつかあります。

1. 自律性と意識：AI はプログラムやアルゴリズムに基づいて作動し、自律的に処理や判断を行います。一方、「人間の力」は自己意識を持ち、自己認識や主観的な経験を通じて行動します。

2. 感情と倫理：人間は感情を持ち、倫理的な判断や道徳的な観点から行動することができます。AI は感情を持たず、倫理的な判断はプログラムや設計に基づいて行われます。

3. 創造性と直感：人間は創造的な思考や直感を通じて問題解決や発見を行います。AI も一定の創造性を持つことができますが、その創造性は人間のそれとは異なる方法で表現されます。

4. 物理的な制約：人間は身体を持ち、物理的な制約の中で行動します。一方、AI はデジタルな存在であり、物理的な制約を持たず、高速で情報処理を行うことができます。

5. 経験と学習：人間は経験を通じて学習し成長します。AI も学習アルゴリズムを通じて学習することができますが、その学習はデータやプログラムに基づいて行われます。

総じて言えば、AI は情報処理や認識能力において非常に高い能力を持ちますが、「人間の力」は感情や倫理、創造性、直感、身体的な制約、経験などの面で特異な存在です。

プログラム

1. 躑 Ashioto - Footsteps

それは、何もない大地に現れた。夜明けに立ち上がり、太陽に向かって歩き始めた。野を越え、山や谷を越え、春を越え、夏を越え、秋を越え、冬を越えた。陽が沈み、横たわり、月を愛で、星を数えた。生まれては消え、消えては生まれ、立ち上がり、歩く。歩き続ける。何を目指しているのか。何のために歩き続けるのか。

2. 有頂天 Ucho-ten - Rapture

ここが世界のでっぺんだ。今日たどり着いたこの場所がこれまでで一番だ。今は何もかもを忘れ、今日ここに辿り着いた自分自身を讃えよう。最高だ。最高の気分だ。私の人生は上々だ・・・と、いい気になっては風が吹き、吹き飛ばされてふりだしに。我にかえるとビビるから、あれこれ全部を笑い飛ばして頑張ろう。明日はもっと高いところへ行く。一番上を目指す。

3. 烈火 Rekka - Wildfire

ぶつかり合う肉体と肉体。音と音。真にぶつかり合うのは内なる魂と魂。色とりどりの魂によって、それぞれの肉体が様々な炎の色を帯びて燃え上がる。火花を散らし、個性豊かにぶつかり合う炎が心臓の鼓動にゆらめく。弾き出されるビートにシンクロし始める炎。ひとつになり、激しく美しく燃え上がるその中に何が見えるのか。轟音が共鳴する。

4. 我楽多 Garakuta - Odds and Ends

我楽多たちの声がする。その声は小さく小さく楽しげに、今日という日を遊んでる。まあ特に言葉にするほどの、別に大それた理由があるわけでもない。使い道もこれといってなく、世の中になんの役にも立たない我楽多の、それでも言いたい心意気。この世にゴミなどないのだ！あれもこれも、きっと誰かの宝物！小さなハートが響き合う。

※我楽多を漢字で書くと「我（Ga）、楽（Raku）、多（Ta）」＝「I have fun」。

和太鼓ではなく、チャップパという小さな楽器を使ったコミカルな曲です。

5. 尙徹 Ittetsu - Stubborn

思い込んだら寄り道せずやり遂げる。「頑固一徹」に、私自身を押し通す。誰にも曲げられない信念が、曲げられないはずの信念が、いろんな誘惑でくねくね曲がる。強い気持ちが、意思が、時に消えて見えなくなる。今日も負けそうになるのに堪えながら、自分と戦い続けるのである。無心に、まっすぐに生きる。打ち込むのみ。

休憩

#### 6. 熱情 Netsujoh - Passion

人としてこの世に生まれ、命が続く限り持ち続ける想い。

今を生きる全ての人の心に燃える情熱。今こそその情熱を掲げよう。その情熱の炎をもって暗闇を照らし、進むべき道を行こう。声を上げ、拳を突き上げよう。体内に力強く脈打つ心臓というエンジンが、肉体と精神にエネルギーを送る。互いの笑顔に心が踊る。

情熱の炎よ 世界を、人々を照らせ。

#### 7. 爛爛 Ran-Ran - The Glaring Thing

心の中に爛爛と光るもの。瞳の奥に輝くもの。

静かにそこに在り、明らかにそこに有り、何があろうとも消えることなく。

眼を閉じてそれを見る。覚悟を決め、顔を上げ、瞳を開いたその瞬間。身体の内側から弾き出される光。閃光が往くべき道を切り開く。

迷わずにゆこう。

#### 8. 輩 Yakara - The Guys

いつまで子どもで、いつから大人かわからない。

いくつになっても、いつまで経っても大人にはなりきれない。夢や希望や野望や欲望。一喜一憂、嬉しかったり悲しかったりを繰り返し。お互いに、心の中の無垢で無邪気なところを大切に、肩を組んでいこう。支えあっていこう。汗をかき、ベソをかきつつもう一度。

歯を食いしばって。

#### 9. 楽打 Rakuda - Joy of the Beat

楽打とは、「楽しい」という言葉の「楽」という漢字と「太鼓を打つ」の「打」という漢字を組み合わせた造語です。音の響き（発音）は日本語で動物の「らくだ」をイメージしています。らくだの少しとぼけた様な感じ、果てない砂漠を飄々と歩いている感じをイメージしながら「楽しく打つ」それが楽打という曲です。倭の代表曲とも言える曲で、倭はこの曲と共に、果てない世界を旅しています。